

2023.

5/27 13:00
① 17:00

- [会場] 対馬市交流センター3階 大会議室
- [参加費] 無料
- [申込み] 不要
- [主催] 対馬博物館 (一財)自治総合センター
- [問合せ] 対馬博物館 ☎0920 (53) 5100



対馬の

博物館をみんなで育てるには？
地域に溶け込んだ博物館とは？
これまでとこれからの博物館とは？
博物館に抱くそれぞれの期待を教えてください！
自然・歴史・文化・芸術を共に伝えたい！



ウェブサイト・イベント詳細はこちら

<https://tsushimamuseum.jp/event/>



2023.

5/27(土)

[会場] 対馬市交流センター
3階 大会議室

[参加費] 無料

[申込み] 不要

講師

河合 恭典 / 杵岐市立一支国博物館 学芸員・副館長

兵庫県出身。大学卒業後、京都市内や滋賀県を中心に発掘調査に従事。2010年、一支国博物館と同居の長崎県埋蔵文化財センターに嘱託職員として勤務。2011年から一支国博物館の学芸員となり現在に至る。杵岐の古代史とネコと藍染を調査中。



清野 聡子 / 九州大学大学院工学研究院環境社会部門 准教授

神奈川県出身。専門は、生態工学、海岸環境保全・再生、自然の参加型管理、環境計画・法制度、ユース育成等。対馬市の海洋保護区、海ごみ、グローバル大学、SDGsの海関係の政策に専門家として参画。漁業者や市民と共に対馬の海を調査。『対馬魚類図鑑』を対馬市と制作。



花田 伸一 / キュレーター、佐賀大学芸術地域デザイン学部 准教授

福岡市出身。北九州市立美術館学芸員、フリーランスを経て2016年から現職。地域でのアートプロジェクトを多く手がける。主な企画に「6th 北九州ビエンナーレ〜ことのはじまり」「ちくごアートファーム計画」「佐賀モバイル・アカデミー・オブ・アート」他。



スケジュール

12:30 開場

13:00 開会挨拶

13:10 講師による事例紹介
(各30分程度)

15:00 休憩

15:10 講師+パネリストによる
パネルディスカッション

16:50 閉会挨拶

17:00 終了



パネリスト



上野 芳喜 / 一般社団法人対馬CAPP代表理事

対馬市出身。2003年、(有)対馬エコツアー設立。その後2017年、海岸漂着ごみ対策を進展させるため、現団体を設立。海岸清掃イベント等、海ごみ対策の普及啓発活動を実施。行政と市民・民間団体・関係者との連携・調整・情報共有を行う“中間支援組織”となるべく活動中。



山口 華代 / 長崎県対馬歴史研究センター 学芸員

宮崎県出身。2007年から長崎県立対馬歴史民俗資料館にて学芸員として勤務。その後、2016年から長崎県教育庁学芸文化課にて勤務後、2022年から再び対馬にて、現センターで勤務。対馬宗家文書の調査研究と保存管理業務に携わる。対馬古文書研究会でも活動中。



吉留 徹 / 熊本市記念館 夏目漱石内坪井旧居 館長

福岡県出身。下関市立豊北歴史民俗資料館及び土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム元館長。現在、福岡県文化財審議委員会民俗専門委員会委員等を務める。主に祭りや信仰儀礼を中心に調査研究。民俗資料の映像データ・ベース化を市民参画のもと、資料の整理作業を実施。

コーディネーター

矢後 勝也 / 東京大学総合研究博物館講師、日本蝶類学会副会長

神奈川県出身。日本鱗翅学会理事・自然保護委員長。専門は昆虫自然史学、保全生物学。対馬では国内希少動植物種ツシマウラボシジミの保全に携わる。著書・監修に『珠玉の昆虫標本』（東京大学出版会）、『角川の集める図鑑 GET! 昆虫』（KADOKAWA）など多数。



モ ノ 自然 美術 文化 歴史 環境

昨年4月に離島の地域博物館として、対馬を伝え、交わりを生み、つないでいくところとして開館した対馬博物館。今後の博物館活動では、市民の皆さんとの連携関係の醸成が課題となっています。今回は他の地域博物館や大学等で活躍する専門家を招き、連携のあり方や、調査研究への市民参画の事例を紹介していただきます。パネルディスカッションでは、市民の皆さんに対馬博物館を身近に感じてもらう、積極的に活動に参画してもらうためのアイデアを話し合います。



対馬博物館

TSUSHIMA MUSEUM

